

# フルコスト分析 (旅券関連業務)

平成28年11月12日

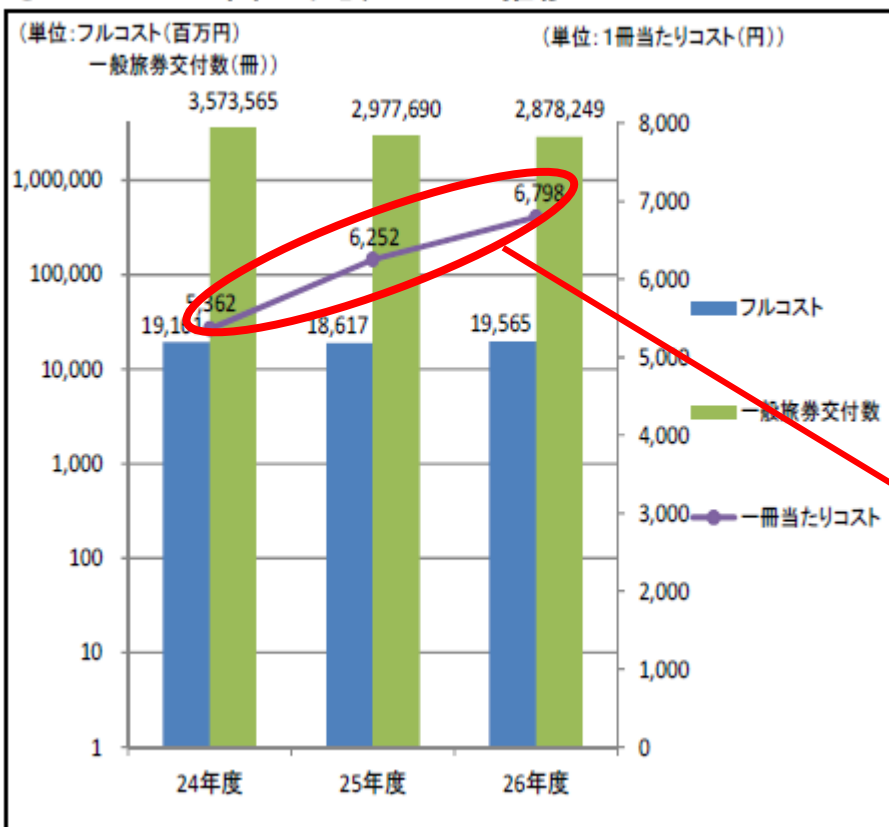
内閣官房行政改革推進本部事務局

# 旅券にかかるフルコスト情報

フルコストとは：純粹に事業を実施する際にかかる経費（事業費）と間接的に事業を実施する際に必要となる経費を合計したものの。

$$\text{フルコスト} = \text{事業費} + \text{人件費} + \text{物件費} + \text{庁舎等(減価償却費)}$$

○フルコスト・単位当たりコストの推移



## ◆旅券にかかるフルコストの明細(平成26年度)

- 事業コスト 7,702百万円
- 人件費等 5,503百万円
- 物件費、庁舎等 6,360百万円

## ◆1冊当たりコスト(平成26年度)

【フルコスト÷旅券交付数】

6,798円

旅券一冊当たりの発給に要するフルコストは最近2年で2割以上増加

出典：個別事業のフルコスト情報の開示について(外務省HPより)

# 旅券手数料

◆ 旅券手数料： 10年間有効な旅券 16,000円

5年間有効な旅券 11,000円

※5年間有効な旅券(12歳未満) 6,000円

なお、内訳は2,000円を都道府県の収入証紙で支払い、残りを国の収入印紙で支払う。平成27年度の手数料収入は約388億円。

## 【旅券手数料の内訳(10年旅券の場合)】

- 冊子代、作成機器等借料、通信回線費、消耗品費、人件費等  
4,000円
  - 海外で邦人が事件事故等の不幸な事態に遭遇した場合の援護にかかる経費、情報収集及び提供に携わる職員の人件費や諸経費等  
10,000円
  - 都道府県の旅券事務所における人件費、事務所賃貸等の事務所経費  
2,000円
- 合計 16,000円

## 【参考】主要国の旅券発行手数料

国名	旅券の有効期間	手数料額 (邦貨換算額)
米国	10年	13,800円
カナダ	10年	16,050円
英国	10年	14,670円
フランス	10年	11,740円
ドイツ	10年	10,040円
イタリア	10年	10,920円

注：平成25年5月15日の実勢レートに基づき、現地通貨から邦貨に換算。

出典：旅券法の一部改正Q&A(平成25年) 外務省

# 旅券業務における申請者の負担及び行政コスト

## ◆ 旅券の申請から受領までの手続き

- ① 以下の書類を用意する。
  - 一般旅券発給申請書
  - 戸籍謄本(または戸籍抄本)
  - 住民票の写し
  - 写真
  - 申請者本人に間違いのないことを確認できる書類 (運転免許証等)
- ② 住民登録をしているパスポートセンターで申請する。
- ③ 受理票及び手数料を持参して、本人が申請窓口に出向き、受領する。

### 世界各国の現状

#### ○ スウェーデン

本人確認の手段としてe-IDカードが国税庁から発行されており、数分でパスポートが発行できるようになった。

#### ○ エストニア

国民IDカードを携帯することにより、EU各国内でのパスポートの代替として利用可能。

出典: 諸外国における国民ID制度の現状等に関する調査研究報告書  
(国際大学グローバル・コミュニケーション・センター)

### 世界最先端IT国家創造宣言(抄)

(平成28年5月20日閣議決定)

#### ○ マイナンバー制度を活用した国民生活の利便性の向上

マイナンバーの利用範囲の拡大については、戸籍事務、旅券事務、在外邦人の情報管理業務等を中心に取組を推進中。

## 論点のまとめ

- 個々の旅券の発給に要するフルコストが2年で2割以上増加しているが、コストを抑制するインセンティブは働いているか。また、手数料の算定根拠は明確か。
- 旅券事務については、マイナンバーの活用や手続きの見直しなどにより、申請者と行政双方のコストを削減出来ないか。